

「予備自衛官等協力事業所表示制度」について

企業様が予備自衛官等の雇用を通じ、社会貢献を果たしていることを防衛省として認定・表示する制度です。予備自衛官等の制度に対する社会的な関心と理解を深めるとともに、企業様の信頼向上につながるものと考えております。

詳しいご説明・申請は千葉地本 予備自衛官室までお問い合わせください！



第31普通科連隊
第4中隊長
3等陸佐 木川 康彦

～中隊長から雇用企業の皆様へ～

日頃から即応予備自衛官制度へのご理解、ご協力、誠に有難う御座います。

ご承知の通り、即応予備自衛官は、いざという時には防衛招集、治安招集、そして災害等招集に招集されます。

皆様も記憶されていると思いますが、昨年豪雨災害等、各種災害発生の際に招集され、積極的かつ献身的に活動し、常備自衛官と共に行動しました。

練度の維持・向上のため、年間30日の招集訓練に参加し、自ら積極的かつ貪欲にスキルアップに励んでいます。

日頃、一般社会で活躍されている皆様におかれましては、多大な困難が伴うと思いますが、即応予備自衛官の立場を理解され、良好な関係を引続き維持して頂き、各種招集の際には熱きエールと共に背中を押し、送り出して頂ければと思います。

引き続き、即応予備自衛官を宜しくお願いいたします。

◇予備自衛官等とは・・・？

普段は、社会人として働きながら、年間で決められた日数の訓練に参加し、体力や技術を維持し、いざという時には災害派遣等で地域社会に貢献する制度で「即応予備自衛官」、「予備自衛官」、「予備自衛官補」の3種類があります。



雇用企業主様等を訓練研修へご招待しています！

○今年度は・・・

平成30年12月14日(金)～15日(土)駒門駐屯地、東富士演習場
で行われました。以下は今年度の研修風景。

国際活動教育隊 展示ブース見学



<参加企業様の声>

- ・ 世界には多種多様な文化や考えがある中で、国際平和協力活動等に行く前に、活動先の文化等を学ぶのはとても大事だと感じた。

射撃訓練研修 (弾着地点観測)



<参加企業様の声>

- ・ 迫撃砲弾着の様子を確認でき、とても貴重な体験ができました。日頃の厳しい訓練の成果を感じさせる、正確な射撃でした。

戦車体験試乗



<参加企業様の声>

- ・ 初めて戦車試乗を体験しましたが、演習場内を思った以上に長い距離を走行していただき、とても貴重な体験ができました。

千葉地本 予備自室では、即応予備自衛官制度のご理解を深めていただく為、雇用企業様への制度説明、また上司、同僚の皆様を訓練見学会等各種イベントにご招待しております！